

1 計画策定の趣旨

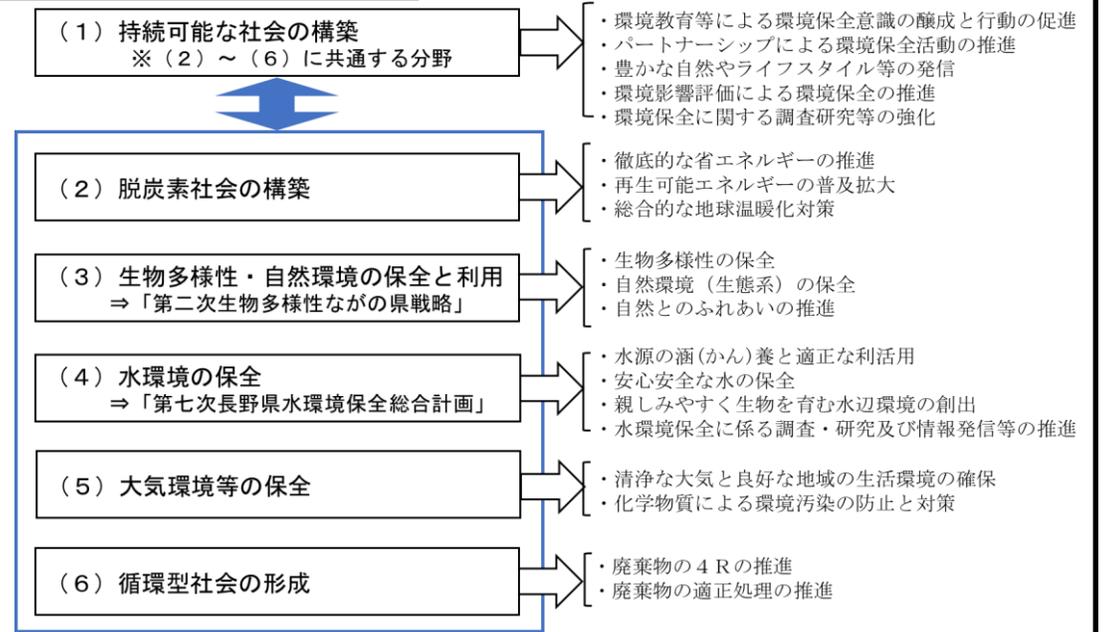
「長野県環境基本条例」第8条に基づき、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本となる計画を策定するもの。

なお、本計画における「生物多様性・自然環境の保全と利用」の生物多様性関係を「第二次生物多様性ながの県戦略」に位置付けるとともに、「水環境の保全」を「第七次長野県水環境保全総合計画」に位置付ける。

2 計画期間

2023(R5)～2027(R9)年度

3 計画の対象分野



4 計画の検討状況

(1) 長野県環境審議会

2022(R4)年3月：R3年度第5回環境審議会（計画策定について諮問）

7月：R4年度第2回環境審議会（検討状況の報告）

11月：R4年度第4回環境審議会（中間報告）

(2) 有識者ヒアリング

2022(R4)年6月：生物多様性関係の有識者ヒアリング（計3名）

10月：水環境保全関係の有識者ヒアリング（計3名）

(3) パブリックコメント

2022(R4)年12月16日～2023(R5)年1月13日の期間で実施。5名から計56件の意見提出

5 計画のポイント

(1) SDGs (持続可能な開発目標) による施策の推進

① SDGs と関連付けた基本目標の設定

「共に育み 未来につなぐ 豊かな自然と確かな暮らし」

(基本目標の意味)

- 共に育み : 多様な主体によるパートナーシップの構築
- 未来につなぐ : 持続可能であること
- 豊かな自然 : 長野県が誇る雄大な山々、清浄な水・空気、森林、農村景観、多様な生態系など
- 確かな暮らし : 経済・社会・環境の統合的向上により実現する暮らし

② 環境・経済・社会の課題解決 (マルチベネフィット) を図る取組を記載

- ☆ 「信州型自然保育 (信州やまほいく) 認定制度」による幼児の豊かな育ちの推進【環境×社会 (教育)】
- ☆ 「信州健康ゼロエネ住宅」の普及促進【環境×社会 (健康)】
- ☆ 県内製造業におけるゼロカーボン関連技術開発への支援【環境×経済 (産業)】
- ☆ 「諏訪湖創生ビジョン」に基づく水質・生態系の保全と観光振興【環境×経済 (観光)】
- ☆ フードバンク等を通じた食品ロス削減と生活困窮者等への支援【環境×社会 (貧困対策)】 など

(2) 次期総合5か年計画等との整合

現在策定中の次期総合5か年計画、現行の第四次環境基本計画後に策定したゼロカーボン戦略及び廃棄物処理計画 (第5期) との整合を図り、ゼロカーボン施策を拡充するとともに、循環経済への転換に向けた施策等も規定する。

(3) 「生物多様性ながの県戦略」としての位置付け

今回から新たに、生物多様性基本法に基づく「生物多様性地域戦略」に当たる「生物多様性ながの県戦略」に位置付け、生物多様性保全の具体的な施策を規定する。(長野県版レッドリストの改訂等)

(4) 親しみやすい計画にするための「推進標語」の設定

公募により、県民及び事業者の環境保全に関する行動を呼びかける「推進標語」を6つの施策の分野ごとに設定する。
(小学生から一般までの167名から計360作品の応募。現在、選定中)

6 今後の予定

3月 部局長会議 (計画の決定)